

令和2年度久留米市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、貧困、虐待、孤立など地域で人びとが直面している課題は複雑化、深刻化しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民生活における金銭的・社会的困窮が拡大するなど、新しい生活様式に対応した地域福祉のあり方が求められています。

こうしたなか、令和2年度は、基本方針を、(1)あらゆる生活課題への対応、(2)地域のつながりの再構築、(3)地域から信頼される組織づくりと定め、合計10項目の主要事業、事務局体制に関する取組、財源に関する取組を中心に活動を進めました。

7月の豪雨災害における市内の浸水被害に際し、災害ボランティアセンターを設置しました。

また、生活困窮世帯等へ市内の困窮世帯支援団体等と協力した食糧支援事業などを実施しました。

令和2年度の事業実施状況は以下のとおりです。

I. 主要事業

(1) 地域福祉活動の推進支援

●「くるめ支え合うプラン」の地域展開

より多くの住民に「くるめ支え合うプラン」の理念を伝えるため、プランの概要版、わかりやすい版、英訳版を作成、ホームページ等を活用した周知を行いました。

また、各コミュニティ組織や校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、支え合い推進会議等に対し、次期校区福祉活動計画策定に向けた働きかけを行いました。校区社会福祉協議会のみならず、支え合い推進会議に意見を求める校区や、支え合い推進会議で策定を進める校区も出てきました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
策定見直し支援	10校区	9校区 (内、1校区策定済)

●見守りや支援の対象者を広げる

見守りや支援の対象者を広げる取り組みとして、高齢者や子ども、障害者、生活困窮者など、様々な事例に対し、行政や地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センター、生活自立支援センター等との協力により、顕在化した制度の狭間で複合的な課題を抱える世帯に対して、生活環境の改善等を支援しました。

校区社協やふれあいの会、支え合い推進会議が行う学習会などを通して、支援を必要とする人や世帯の現状と課題を共有したり、理解を促したりしました。

いきいきサロンについては、新型コロナウイルス感染症の影響から、中止するところが多く発生しました。

そのような中でも、ふれあいの会等による見守りや訪問活動において、地域のつながりが途切れないように留意した活動の継続を促し、校区の実情に添った助言や支援を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
ボランティアスクール等の実施	各校区 2 回	39 校区 91 回 (※学習会を含む)
見守り訪問活動	延べ 248, 650 回	(集計中：5 月下旬予定)
いきいきサロンの設置数	325 か所	275 か所 (新規 7 か所)

●コミュニティ組織との新たなネットワーク化

支え合いの必要性や支え合い推進会議の意義を継続して校区コミュニティ組織を中心に説明を行い、新たに 7 校区に支え合い推進会議が設置されました。

各校区の支え合い推進会議で特色のある協議が展開され、その結果、日常生活を営む上で抱える困りごとを解決することを目的とした、生活支援活動団体が立ち上げられました。

また、市の広報（WEB コラム番外編）の活用や生活支援コーディネーターによる校区広報紙掲載の促進など、地域コミュニティ組織の取組みを広く周知し、多くの地域住民に地域での福祉活動を伝えられるよう創意工夫を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
新たな生活支援活動の立ち上げ	2 か所程度	2 か所 (山本・大橋)

●興味や関心事を軸として集う市民グループとの連携

Chietsuku project や久留米 10 万人女子会等と連携し事業を行いました。参加者の所属も年齢も問わず各々のロマン（福祉）を語る場「はじロマ会」の開催や、地域と住民をつなぐラボ会、「地域暮らし研究」としてバス研修や、校区インタビューの実施、4 6 校区紹介動画の作成などの事業を行い、対人支援においてこれまでの具体的な課題解決を目指すアプローチとは異なる、「つながること」を目指すアプローチを行っていくことができました。

●地域福祉を担う人材の育成

新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の多くは実施の見合わせ、あるいは従来とは異なった形での実施となりました。社会福祉大会は規模を縮小し、顕彰のみ行

いました。また、ボランティアフェスティバルについては、実施方法を大きく変更し、Zoom と YouTube によるオンライン配信を行いました。初めての試みでしたが、YouTube では 1,200 回以上（4 月 20 日現在）視聴されています。

校区社協等と学校が協働して行う福祉教育の取組みは、実施には至りませんでした。新たな試みとして学校とゲストティーチャーをオンラインで繋ぐ、福祉学習会を実施しました。

(2) 相談・支援

●組織内の情報を支援活動に活かす

地域福祉課の担当コーディネーターは、生活支援課が担当する緊急小口資金(特例)、総合支援資金(特例)の導入時期における急増する相談に対応し、情報を収集いたしました。

また、借受世帯の中から、複合的な課題等が見える世帯を対象とし、福祉相談の案内を送付しました(69世帯)。また、借受世帯の特性(校区・性別・年齢・世帯構成・就労形態)について調査を行いました(2,218世帯)。

在宅福祉課との連携については、介護サービス提供時や介護保険認定調査での訪問時の状況を共有して、適切な支援関係機関へつなげました。

●継続的で柔軟な対応を行っていく

引きこもりや生活環境に課題を抱える、例えば、「ゴミ屋敷」などの、地域で見えられた「気がかりなケース」に対して校区担当のコーディネーターが訪問、聞き取りなどを行い、相談支援包括化推進会議で関係機関と連携しながらケース検討を重ねる、あるいはライフレスキュー久留米連絡会と情報共有し支援にあたるなど、寄り添った支援に努めました。

また、福祉相談の対象者に対し、郵送での相談案内の他、電話による相談、聞き取りを実施しました。その中で、特例貸付の説明の他、介護相談や他制度についての紹介、多機関へのつなぎなどの支援を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
相談支援包括化推進会議の開催	年 8 回	年 26 回
ライフレスキュー久留米連絡会への参加法人	35 法人 (3 法人増)	登録 32 事業所 (28 法人)

※ライフレスキュー久留米連絡会については、令和 2 年度より登録制度を導入

●地域へのきめ細かな働きかけ

支え合い推進会議や校区社協役員会、ふれあいの会班長会、地区民生委員児童委員協議会など、住民同士の話し合いの場に参加し、情報共有、支え合う関係づくりの促進、課題解決に向けての支援などを行いました。

個別支援（住居の環境保全支援等）を自治会や校区社協、民生委員・児童委員等と協力して行い、課題を抱えながらも、要支援者が地域で安心して暮らしていくことができるよう働きかけを行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
個別支援計画の作成	10 件程度	14 件

●要支援者の情報を速やかに把握する

新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても、地域の見守りや訪問活動を継続させ、身近な地域でお互いに気づき合い、見守り合える関係づくりを促し、新たに2校区で見守り訪問活動を始められました。

近隣世帯の小さな変化から課題や困りごとに気づくことができる住民を増やすため、地域住民を対象とした学習会、研修会等を校区社協等とともに実施しました。

年間を通じて、担当コーディネーターは、住民同士の話し合いの場に参加し、地域や個別の世帯等の困りことや課題の把握に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
見守り訪問活動の普及 (ふれあいの会)	44 校区 (2 校区増)	44 校区 (2 校区増) ※水分、竹野
学習会の企画支援	各校区 2 回	39 校区 91 回 (再掲) (ボランティアスクールを含む)

(3) 権利擁護

●法人後見事業

安定した事業運営のため、経済的な理由で報酬が支払えない場合は、市の成年後見制度利用支援事業の補助金を利用し収入の確保に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により面会や訪問が制限されている状況下において、本人に不利益が生じないように関係機関と連携を図りながら臨機応変な対応を図りました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
受任件数	30 件	26 件 (うち年度内終了 4 件)

※利用支援事業補助金（報酬補助）利用数 2 件

●市民後見人の育成

市が主催する市民後見人活動支援事業を受託し、市民後見人候補者に対して必要な知識及び技術などの習得を目的にフォローアップ研修を実施しました。

また、本会の法人後見支援員の業務内容を、将来的に市民後見人として単独受任できるように、より実践に即した内容に見直しました。

●中核機関業務の受託に向けた取り組み

市が成年後見制度の利用促進のために設置する予定の中核機関の受託に向けて、新たな業務の調査研究及び必要な知識の習得に努めました。

また、成年後見センターの相談機能の充実と適正・効率的な運営に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
センター相談件数	目標数値なし	512 件
センターによる 申立手続の支援	目標数値なし	53 件
受任調整（中核機関の 新たな業務）デモ会議 への事例提出及び参加	目標数値なし	2 回

●日常生活自立支援事業

利用契約者に対して、専門員 4 名（1 名兼務）にて適正適切な事業運営に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により面会や訪問が制限されている状況下においても、適切な事業利用及び支援ができるよう関係機関との連携強化に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
日常生活自立支援専門員	4 名（1 名増）	4 名（1 名兼務）
利用契約者数	目標数値なし	163 件 (新規 18 件、解約 25 件)

(4) 在宅福祉サービス

●要介護認定調査業務の整理

新型コロナウイルス感染症の影響により、心身の状況が変られた【区分変更】申請の方を中心に、「感染しない、感染させない」を第一に、介護認定調査業務を実施しました。

また退職による職員減での、今後の事業体制について、市と協議を行いました。

なお、国が示す居宅介護支援事業所管理者の要件である主任介護支援専門員の配置については、その要件適用が猶予される条件にあうよう体制を整えました。

●介護保険事業経営の方向性の決定

事業経営の方向性については、他市社会福祉協議会における介護保険事業の情報収集や経営改善セミナー受講での事業分析にとどまり、役員等による今後の在り方を検討する会議の設置には至りませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域内行事等への介護専門職員派遣や出前講座等の企画は、開催を見送りました。訪問事業や通所事業等は、感染予防について保健所の専門研修を受けるなど留意し、中断することなく安心安全な介護サービスを提供しました。

また、遠隔であっても事業が継続できるシステムの構築や、基本となる施設内の感染予防の環境整備など、県からの補助を受け充実させることができました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
介護専門職の地域内行事等への派遣	年7回	新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし
出前講座・介護教室等の自主事業	年3回	新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

(5) 災害への対応

●災害ボランティアセンター運営と本会の業務執行体制の確保

新型コロナウイルス感染症の影響により市内の大学で休学等が発生するなか、7月に発生した豪雨災害による災害ボランティアセンターの運営など行いましたが、災害時の相互協力を定める協定締結等の協議を行うことはできませんでした。

災害ボランティアセンターの運営については、あらかじめ市と協議し運営方法について整理していたことや、ボランティア募集をSNSによる事前登録へ移行していたこともあり、新型コロナウイルス感染症が発生することなく災害ボランティアセンターを運営することができました。

●非常時の支え合い

災害時マイプランを、支援関係機関や近隣の地域住民の協力を得て作成しました。その作成段階において、非常時に支え合うことができるよう、普段の見守りや支え合いの重要性と「普段からの地域とのつながり」について周知活動を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
避難行動要支援者 支援プランの作成 (災害時マイプラン)	10 件程度	4 件

※災害時マイプランの PR 活動

- ・備えあいフェスタ 2021 (主催：心眼はひとアイズ、市民活動サポートセンター)
- ・NORMA 社協情報 2020 年度 12 - 1 月号 (発行 全国社会福祉協議会) 寄稿

(6) 情報の発信・広報

●計画的、効果的な広報

本会の運営方針や事業内容などへの理解を深めてもらうために、広報紙「くるめ福祉」を計画的に年 4 回発行しました。

また、市民向けに情報やサービス等のお知らせについては、「くるめ福祉」や「ホームページ」の活用のほか、チラシの作成、ツイッターやフェイスブックなどソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) も積極的に活用し、わかりやすく、活動に参加したくなるような広報活動に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
Facebook、Twitter 等 への各課投稿	前年比 5%増	前年比 137%増
ホームページの閲覧者数 (月平均)	3,400 人	8,282 人

●積極的な情報公開

令和元年度に作成した中期経営計画や地域福祉活動計画 (支え合うプラン) をホームページで公開し、広報紙等でも周知を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による生活支援情報や災害ボランティアに関する情報など、ホームページや SNS による情報発信はもちろん、新聞等のメディアを活用した情報発信を行いました。

II. 事務局体制に関する取組

(7) 組織

●企画・調整機能の強化

各課業務を横断して調整し、事業進捗を管理する調整機能や中長期的なスパンで本会運営について企画・調整する部署を総務課内に兼務として配置しました。

●新たなニーズに対応した組織の見直し

新型コロナウイルス感染症に影響により相談が大幅に急増する中、「断らない相談・支援」や「伴走支援」などの新しいニーズに対応するために、本会組織内部での連携を強化しました。

特に、新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金制度による緊急小口貸付等の特例貸付相談については、担当の枠を超えた応援体制を確立し対応しました。

(8) 職員

●人材の育成

目指すべき目標を明確にし、日々の業務にあたることができるように「人材育成基本方針」の策定に向けた検討を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、DVDやオンラインを活用した人材育成研修を行いました。

(9) 事務事業

●事務事業の見直し

文書管理方法について職員間プロジェクトチームを結成し、新たなファイル基準及び事務処理方法を検討しました。

また、急激なICT化に対応するため、「新ネットワークシステム」導入についても職員間プロジェクトチームを結成し、災害対応やテレワークを想定したクラウド活用によるファイル管理方法や運用方法について検討し、令和3年度に本格導入できるよう、試験運用を実施いたしました。

Ⅲ. 財源に関する取組

(10) 財源の確保・活用

●公募事業への参画

指定管理施設（総合福祉会館、田主丸老人福祉センター、三瀬総合福祉センター）について、効率的な運営による収益の改善を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による一時閉鎖などにより、来場者の減少や指定管理の協定見直しなど、収入が減少しました。

●自主財源の確保

地域住民に対し、本会の活動に対する理解促進を図りながら、より一層の支援を呼びかけました。

さらに、福岡県IT補助金や企業における社会福祉法人への減免制度を活用しました。

【附属明細書】

(1) 法人の運営

○理事会・評議員会等開催状況

区分	期日	内 容
監 査	5月23日	令和元年度における理事の業務執行状況及び財産の状況について
理事会 (決議の省略による)	5月29日	提案事項1 令和元年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業報告及び決算について 提案事項2 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)(案)について 提案事項3 理事候補者について 提案事項4 評議員選任候補者の推薦について 提案事項5 評議員選任・解任委員会の招集について 提案事項6 評議員会の決議の省略について
評議員選任・解任委員会	6月12日	第1号議案 評議員の選任について
評議員会 (決議の省略による)	6月26日	提案事項1 令和元年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業報告及び決算について 提案事項2 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について 提案事項3 理事の選任について
理事会	10月14日	第1号議案 副会長の選任について 第2号議案 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)(案)について 第3号議案 理事候補者の推薦について 第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第5号議案 評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について 第6号議案 評議員の決議の省略について
評議員選任・解任委員会	10月23日	第2号議案 評議員の選任について
評議員会 (決議の省略による)	11月5日	提案事項1 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について 提案事項2 理事の選任について

区 分	期 日	内 容
運営委員会	3月2日	令和2年度資金収支補正予算(案)について 令和3年度事業計画(案)・予算(案)について 役員数の変更について
広報委員会	3月2日	令和2年度広報事業報告について 令和3年度広報事業計画(案)について
理事会	3月23日	第7号議案 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)(案)について 第8号議案 理事候補者について 第9号議案 令和3年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業計画(案)及び資金収支予算(案)について 第10号議案 令和3年度役員等賠償責任保険契約について 第11号議案 評議員会の決議の省略について
評議員会 (決議の省略による)	3月29日	提案事項1 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について 提案事項2 理事の選任について 提案事項3 令和3年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について

○社会福祉事業に関する寄付金状況 (物品寄贈含む)

(単位：件、円)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
5万円未満	件 数	26	23	29	18
	寄付金計	365,354	348,126	551,887	338,740
5万円以上10万円未満	件 数	2	5	6	4
	寄付金計	100,000	250,000	305,080	214,443
10万円以上20万円未満	件 数	9	5	6	8
	寄付金計	960,000	500,000	600,000	946,184
20万円以上30万円未満	件 数	1	0	0	0
	寄付金計	200,000	0	0	0
30万円以上40万円未満	件 数	0	0	0	1
	寄付金計	0	0	0	382,241
40万円以上50万円未満	件 数	0	0	0	1
	寄付金計	0	0	0	450,000
50万円以上100万円未満	件 数	0	0	0	1
	寄付金計	0	0	0	500,000
100万円以上	件 数	3	2	1	1
	寄付金計	38,633,833	4,500,000	1,000,000	70,292,992
合 計	件 数	41	35	42	34
	寄付金計	40,259,187	5,598,126	2,456,967	73,124,600

○社協会員制度状況

(単位：件、口、円)

区 分			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
正会員	年額 3,000円	加入数	53	58	48	48
		加入口数	53	67	48	48
		金額(小計)	159,000	201,000	144,000	144,000
賛助会員	個人会員 1口1,000円	加入数	191	88	137	136
		加入口数	281	136	218.5	197
		金額	281,000	136,000	218,500	197,000
	法人会員 1口5,000円	加入数	11	4	4	4
		加入口数	10	4	4	4
		金額	51,000	20,000	20,000	20,000
金額(小計)		332,000	156,000	238,500	217,000	
金 額 (合計)			491,000	357,000	382,500	361,000

(2) 久留米市地域福祉活動計画の推進

○くるめ支え合うプラン推進協議会

開催日時	内 容	備考
8月24日(月)	重層的支援体制整備事業について くるめ支え合うプランの進捗状況について	
11月25日(水)	再犯防止の推進について 重層的支援体制整備事業について	
3月15日(月)	重層的支援体制整備事業について 再犯防止の推進について くるめ支え合うプランの進捗状況について	オンラインと集合 会議の同時開催

○くるめ支え合うプランの周知

	内容	周知方法
冊子及び概要版の作成	<ul style="list-style-type: none"> くるめ支え合うプランについて説明する際の基礎資料として作成 	<ul style="list-style-type: none"> 校区福祉活動計画策定支援時及び各種研修時の説明資料 校区社協、民児協、まちづくり振興会、支え合い推進会議で配布
わかりやすい版及び英訳版の作成	<ul style="list-style-type: none"> 障害者や子ども、外国籍の人などに向け、イラストを多用しわかりやすい言葉で作成 	<ul style="list-style-type: none"> 本会や市の公式ホームページで公開
具体的事例の紹介(WE Bコラム)	<ul style="list-style-type: none"> くるめ支え合うプランにある13の具体的な取り組みについて、市内の活動事例を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 本会のフェイスブック及び市の公式ホームページで周知 小地域ネットワーク活動(ふれあいの会班長会)等で周知

○校区福祉活動計画策定支援

支援内容	策定支援中	策定済
<ul style="list-style-type: none"> 地域の様々な会議等での説明(説明会の実施) 校区福祉活動策定時におけるオブザーバー参加 校区社協連合会ブロック別研修での説明 	8校区	1校区

(3) 地域福祉活動推進事業

○久留米市社会福祉大会

	内 容
日 時	11月10日(火) 13時30分～15時
会 場	文化センター 共同ホール
参加者	約150人
内 容	式典 <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市社会福祉協議会顕彰 久留米市長顕彰 久留米市社会福祉協議会会長顕彰 ・福岡県共同募金会久留米市支会顕彰 久留米市長顕彰 久留米市支会会長顕彰 ・大会宣言、実践申し合わせ事項 他

○校区社会福祉協議会連合会等支援

	内 容
会長会	2回 (4月/書面、8月/予算補正・書面)
幹事会	5回 (4月/書面、8月、10月、12月、3月)
ブロック会議	3回 (7月、9月、11月)
視察研修会	0回
ブロック別 学習会	1回 (中央、東、南、北ブロックで実施)
55周年記念 大会実行委員会	2回 (8月、10月)
55周年記念	12月 (各校区にて、被顕彰者へ感謝状及び記念品を贈呈)
歳末たすけあい 街頭募金	12月5日 (西鉄久留米バスセンターにて実施)
補助金説明会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
役員基礎 セミナー	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○久留米市校区社会福祉協議会連合会活動状況

会議・事業	期 日	内 容
会計監査	4月7日	・令和元年度会計監査
幹事会	4月17日	・令和元年度事業報告（案）・決算について ・令和2年度事業計画・予算（案）について
会長会 (総会/書面)	6月10日	・校区社会福祉協議会会長の交代について ・令和2年度久留米市校区社会福祉協議会連合会役員について ・各種団体の委員等の選出について ・令和元年度事業報告・決算報告について ・令和2年事業計画（案）・予算（案）について
ブロック会議 (各ブロック)	7月	・ブロック代表者の選出について（欠員補充） （中央・東ブロック） ・令和2年度事業について ①視察研修会について ②55周年記念大会について
幹事会	8月6日	・各ブロック会議の報告 ・令和2年度校区社協連合会事業について ①視察研修会について ②55周年記念大会について ・令和2年度校区社協連合会予算の補正について ・第48回久留米市社会福祉大会における共催について ・第48回久留米市社会福祉大会における顕彰候補者の推薦 について ①校区社協会長の推薦について ②優良校区社協の推薦について
55周年記念大会 実行委員会	8月6日	・顕彰候補者の推薦基準（案）について
ブロック会議 (各ブロック)	9月	・ブロック別学習会等について ・情報交換、意見交換等
幹事会	10月12日	・第48回久留米市社会福祉大会の共催について ・各ブロック会議の報告 ・第48回久留米市社会福祉大会における顕彰候補者の推薦 について（校区社協会長の推薦について（再選考）） ・歳末たすけあい街頭募金について
55周年記念大会 実行委員会	10月12日	・顕彰候補者の推薦状況について ・記念品について

会議・事業	期 日	内 容
ブロック会議 (各ブロック)	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック別学習会について ・令和3年度校区社協連合会事業等について <ul style="list-style-type: none"> ①各種会議の開催等について ②学習会、研修会等について ・周年記念大会及び積立金の取扱いについて ・カレンダー配布事業について ・情報交換、意見交換等
幹事会	12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・各ブロック会議の報告 ・令和2年度事業の進捗状況について ・令和3年度事業計画（素案）について ・校区社協連合会の会議・学習会の方法等について ・周年記念大会及び積立金の取扱い等について <p>(市社協より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市社協の経費負担による「カレンダー配布事業」の終了のお知らせ及び、各校区社協でのカレンダー発注の意向集約について（お願い）」
ブロック別 学習会	2月・3月	<ul style="list-style-type: none"> ・くるめ支え合うプランについて ・校区福祉活動計画の策定について
幹事会	3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック別学習会の報告 ・令和2年度事業報告（案）・決算見込について ・久留米市障害者地域生活支援協議会（全体会）委員の推薦について ・久留米市人権啓発推進協議会代表者及び専門部会員の推薦について ・令和3年度事業計画（素案）・予算（素案）について ・久留米市校区社会福祉協議会連合会会則改正案について ・各校区社協のカレンダー発注集約状況及び、同事業の連合会での実施について

(4) ふれあいのまちづくり事業

○地域活動コーディネーター及び生活支援コーディネーターによる地域への支援

活 動 項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コーディネーター数	9人 (内、生活C05人)	11人 (内、生活C011人)	11人 (内、生活C011人)
社協及びふれあいの会等	46校区 413回	46校区 257回	46校区 199回
サロン・食事会等の交流会出席	28校区 119回	36校区 125回	15校区 20回
ボランティアスクール・学習会等支援	32校区 69回	35校区 110回	39校区 91回
民生委員協議会・各種会議等	39校区 221回	35地区 171回	35地区 175回
地域包括支援センターの会議 関係機関との連携会議	21回	248回	308回
個別支援	14件	12件	30件

○地域における小地域ネットワーク活動状況

項 目	内 容
サロンサポーターの活動実績	1班：西部地区「久レよん」 7人 実践活動 2回 2班：中央地区「はっぴい～会」 0人 実践活動 0回 3班：東部地区「こすもす隊」 21人 実践活動 19回 延21回
ふれあい・いきいきサロン 設置支援	サロン新規立ち上げ（7校区 7か所） 210,000円 ※サロン総数275か所(令和2年度に活動予定)
子どもの遊び場遊具整備事業	15校区 15か所 34件 2,659,927円 賠償責任保険料 157,380円

○他市町村社会福祉協議会等団体視察受け入れ（1回）

団 体 名	受入期日	受入社協等	内 容
筑後市社会福祉協議会	11月9日	草野校区	支え合い推進会議について 生活支援団体（支え愛クラ ブ）について

(5) 生活支援体制整備事業

○「支え合い推進会議」の啓発・取組状況

活 動 項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
取組みのための啓発説明会	12校区 22回	24校区 57回	21校区 31回
支え合い推進会議設置校区	28/46校区	37/46校区	44/46校区
支え合い推進会議への参加 (事前打ち合わせを含む)	28校区 218回	36校区 413回	41校区 342回

○支え合い推進会議シンポジウム

日時・場所	内 容
新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

○包括的支援体制構築事業取組状況

活 動 項 目	令和2年度
個別支援プランの作成	14件
災害時避難支援個別計画	4件 (計画済4件)
相談支援包括化推進会議の開催	26回

(6) 福祉教育の推進

○福祉協力校の状況

項目	内容
指定状況	指定継続校 (90,000 円、2～3 年目) 7 校 (中学校 7) 指定延長校 (45,000 円、4～11 年目) 21 校 (小学校 17、中学校 3、保育園 1) 合計 28 校
社会福祉協力校 連絡会	7 月 30 日 (木) 27 校出席 久留米越冬の会、青峰校区社協、青峰小からの発表
福祉教育指導者 講習会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○福祉教育教材の配布

福祉教育教材の 配布	市内小学 4 年生を対象に福祉教育教材「ともに生きる」を 市内小学校 50 校 (特別支援学校含む) に 3,322 冊配布
---------------	---

○地域に根差した福祉教育

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

○福祉学習等支援状況

小学校や中学校へのゲストティーチャー調整 19 校 42 件

学習テーマ	学校名・日程
車イス利用者をゲスト ティーチャーとして調整	金島小学校 10 月 6 日 (火)
	荘島小学校 10 月 7 日 (水)
	津福小学校 10 月 7 日 (水)
	合川小学校 10 月 13 日 (火)
	大善寺小学校 10 月 15 日 (木)
	西国分小学校 11 月 4 日 (水)
	青木小学校 11 月 27 日 (金)
	宮ノ陣小学校 11 月 20 日 (金)
	上津小学校 11 月 10 日 (火)
	安武小学校 12 月 18 日 (金)
	長門石小学校 1 月 29 日 (金) ※
高牟礼中学校 3 月 17 日 (水)	

学習テーマ	学校名・日程
視覚障害者をゲストティーチャーとして調整	弓削小学校 9月25日(月)
	荘島小学校 9月29日(火)
	京町小学校 10月2日(金)
	大善寺小学校 10月5日(月)
	南小学校 10月7日(水)
	合川小学校 10月7日(水)
	津福小学校 10月7日(水)
	大城小学校 10月9日(金)
	金島小学校 10月12日(月)
	西国分小学校 11月4日(水)
	上津小学校 11月10日(火)
	山川小学校 11月11日(水)
	宮ノ陣小学校 11月19日(木)
	船越小学校 12月7日(月)
	篠山小学校 12月9日(水)
	安武小学校 12月15日(火)
	長門石小学校 1月27日(水) ※
高牟礼中学校 3月17日(水)	
聴覚障害者及び手話通訳者をゲストティーチャーとして調整	大城小学校 10月7日(水)
	荘島小学校 10月8日(木)
	大善寺小学校 10月12日(月)
	金島小学校 10月14日(水)
	合川小学校 10月16日(金)
	西国分小学校 11月6日(金)
	上津小学校 11月9日(月)
	山川小学校 11月13日(金)
	宮ノ陣小学校 11月24日(火)
	青木小学校 12月2日(水)
	安武小学校 12月16日(水)
地域で活動する高齢者をゲストティーチャーとして調整	西国分小学校 11月11日(水)

※ICTを活用したゲストティーチャー活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした緊急事態宣言の中、教室の生徒と総合福祉センター内のゲストティーチャーを繋ぎ、オンラインで講演を実施

視覚障害学習	長門石小学校	1月27日(水)
身体障害学習		1月29日(金)

(7) ボランティアセンター運営事業

○ボランティア相談・ボランティア活動保険等 (単位：件、人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ボランティア登録件数	—	14	63
ボランティア相談会（ブース出展含む）	1	1	1
相談件数	118	110	72
マッチング件数	63	75	49
ボランティア活動保険加入人数	6,505	4,624	4,044
ボランティア保険事故件数	10	11	1

○ボランティアセンター運営委員会（委員会及び視察研修）

※新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

○ボランティアセンター情報紙「まれっと」の発行

日 時	内 容
隔月発行 年5回 (奇数月)	7月、9月、11月、1月、3月発行（各500部） 公共施設、ボランティア団体、相談者等希望する個人等へ送付

○サロンレクリエーションサポータースキルアップ講座

日 時	内 容
① 講義編 7月15日（水） 11時00分～ 13時30分	場 所：三瀨総合福祉センター「ゆうゆう」 参 加 者：24人 内 容：「サロンサポーター1,2,3班合同会議」 ① コロナ対策手洗い替え歌の作成と練習 ② 今年度サロンサポーター養成講座についての意見交換
② 講義編 12月3日（木） 13時00分～ 15時00分	場 所：久留米市総合福祉センター 小会議室 参加者：8人 内 容：「スマホ入門講座ライン編」 ① ラインについて ② グループラインの使い方
③ 実技編 2月4日（木） 13時00分～ 15時00分	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○要約筆記者養成講座（後期）

日 時	内 容
6月6日～10月3日	全17回 申込者9人 全課程修了者2人

○学生ボランティア養成講座及び活動体験

日 時	内 容
3月25日(木) 9時00分～ 16時30分	令和2年度 中高生ボランティア体験講座 対 象 者：中学生・高校生 (参加6人) 内 容：聴覚障害についての理解 手話教室 ボランティア体験 聴覚障害児との交流 場 所：久留米聴覚特別支援学校 協 力：言葉の森くるめ(聴覚障害者支援NPO法人)
3月26日(金) 8時30分～ 17時00分	屋外研修 内 容：聴覚障害児とボランティアのペア行動 障害児との交流とサポート体験 場 所：タマスタ筑後(筑後市)、げんき館おおぶち(八女市) 参加人数：聴覚障害児9人 中高生7人、大学生2人 協 力：言葉の森くるめ(聴覚障害者支援NPO法人)

○ボランティア入門講座

日 時	内 容
3月3日(水) 13時30分～ 16時00分	草刈りボランティア養成講座 参加者 3人

○ボランティアフェスティバル支援

(ボランティアフェスティバル実行委員会主催)

日 時	内 容
3月14日(日) 10時～ 15時30分	第42回久留米市ボランティアフェスティバル 場 所：オンライン 参加者：約600人(YouTube)5人(zoom) ※当日参加 YouTubeにおいて、後日閲覧可能 内 容：しゃべり場 サンシャイン(お笑い芸人) 林家とんでん平(手話落語家) 藤田直子(サロン運営者) 大学生ボランティア 就労支援事業所・作業所紹介 ボランティア団体活動紹介 ボランティア相談(市社協ボランティアセンター)

○新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者への食糧支援

1. 「フードバンクくるめ」との連携による食糧支援

フードバンクくるめより提供を受けた食糧支援セット（米2kg、缶詰、レトルト食品など）を特例貸付や生活困窮に関する相談に来た方に提供しました。

期間	提供件数
令和2年4月10日～令和3年3月8日	37件

2. 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者への緊急食糧支援

市内の生活困窮者支援団体や外国人留学生を受け入れている学校、食糧支援を実施している大学等に対して、赤い羽根共同募金を活用した食糧支援を行いました。

期間	令和3年3月5日～令和3年3月31日
支援内容	<ul style="list-style-type: none">・米 3,400 kg・レトルトカレー 2,600 個・カップ麺 2,700 個・そうめん 500 個・缶詰 700 個 ※1人当たりの支援例（米2kg、カップ麺3個、カレー2個）
支援先	市社会福祉協議会と連携して活動を行っている市内の団体等 <ul style="list-style-type: none">・困窮者支援団体・フードドライブ・フードバンク実施団体・市自立支援センター・久留米大学・久留米工業大学・外国人留学生を受け入れている学校・市内の子ども食堂実施団体 など計22団体

(8) 災害ボランティア活動の推進

○災害ボランティアセンター設置運営訓練

日 時	内 容
6月12日(金) 13時30分～ 15時30分	場 所：田主丸老人福祉センター 参 加 者：20人 (内訳) 久留米市社会福祉協議会 6人 久留米市(協推 防災 地域) 1人 ボランティア 9人 消防団 4人 内 容：コロナ禍でのボランティア受付、登録、 マッチング、ボランティアの送り出し訓練等

○災害ボランティア活動

	内 容
設置期間	7月9日(木)～8月5日(水) 28日間
活動対象と支援内容	主に床上浸水の方を対象に、生活環境の回復に必要な支援
活動内容	① 対象者の把握 ② 支援が必要な方のニーズ把握 ③ ボランティア活動を行いたい方の募集と受け入れ ④ 要望に基づくボランティア派遣
主なニーズと作業内容	① 濡れた畳上げ、家財の運び出し、室内の清掃 ② 処分品(電化製品や家具等)の運び出し ③ 床下の水抜き、清掃
ニーズ受付と処理状況	① 受付件数：75件 (内訳：善導寺4件、田主丸1件、北野28件、 城島38件、合川4件) ② 活動件数：73件 ※処理(対応)件数：65件 ③ 取下げ件数：10件
ボランティア数	延べ 415人、29団体

○災害ボランティア入門講座

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○災害ボランティアセンター職員研修

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(9) 福祉総合相談事業

○相談区分別、月別ふれあい福祉相談カード提出実績

NO	相談区分 (月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	在宅福祉・介護	6	2	5	8	2	10	3	11	4	7	6	6	70
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	介護保険	7	3	5	5	1	2	2	3	1	3	4	5	41
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	健康・保健医療	2	1	7	4	1	5	3	2	3	1	1	1	31
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	子育て・母子保健	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	子どもの地域生活	3	1	32	34	20	25	34	36	28	30	34	31	308
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	子どもの教育・学校生活	2	3	17	4	1	12	1	1	4	1	3	4	53
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	生活費	4	5	4	3	7	3	3	8	4	1	0	5	47
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	年金・保険	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	仕事・就職	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	5
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	家族関係	2	1	2	8	4	2	2	2	1	1	2	0	27
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	住居	4	0	4	1	4	1	5	2	2	9	1	1	34
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	生活環境	10	0	5	7	5	4	5	3	3	1	3	3	49
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日常的な支援	24	18	42	42	47	51	29	40	40	23	25	36	417
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	33	8	18	31	22	34	37	28	33	25	30	30	329
		6	1	3	5	3	2	1	6	10	4	6	5	52
合 計		99	42	141	148	115	150	125	139	123	102	111	123	1,418
		6	1	3	5	3	2	1	6	10	4	6	5	52

※ 上段:全体取扱数 下段:ふれあい福祉相談室(総合福祉センター内)取扱数

○ふれあい福祉相談員研修会開催実績

期 日	内 容
R2. 12月～	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修を中止。 代替として希望地区に研修資料を配布。もしくは、各地区で説明を実施。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none">○資料配布…23地区○説明実施地区…15地区 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none">・ふれあい福祉相談事業について・社協が行う、その他の相談支援事業について

(10) 日常生活自立支援事業

○利用者数

(単位：人)

区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	合 計	生活保護 受給者	預かり	
						貸金庫	社協
人数	66	17	73	156	120	29	156

○年度別利用者数（年度末利用者数）

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人数	139	164	163	156

○相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

事 項	内 容 対象者	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
		認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明・ その他		
	問い合わせ件数 (制度・事業について)	73	20	56	12	0	161
	初回相談件数 (初回相談受付)	42	27	35	0		104
	相談援助件数 (上記以外)	2,672	1,255	7,519	0		11,446
	合 計	2,787	1,302	7,610	12	0	11,711

○契約締結件数

(単位：人)

事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計	生活保護 受給者 (再掲)
	契 約 者 数	4	4	10	0	18	14
契約時概要 (内訳)	在 宅	1	1	10	0	12	9
	施 設	2	0	0	0	2	2
	病 院	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	1	3	0	0	4	3

○解約件数

(単位：人)

事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計
	合 計	11	3	11	0	25

(11) 生活福祉資金貸付事業

○申請額及び決定額

(単位：件、円)

区 分		申 請 額		決 定 額	
		件数	金 額	件数	金 額
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	14	2,404,000	15	2,488,000
	緊急小口資金	24	2,294,000	24	2,324,000
教育支援資金	教育支援費	28	8,396,000	28	7,802,000
	就学支度費	28	9,862,000	28	9,617,000
不動産担保型生活資金		0	0	1	130,000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
緊急小口資金特例【R2.7月豪雨災害】		1	100,000	1	100,000
緊急小口資金特例（新型コロナ）	相談件数	2,794	406,400,000	2,791	406,000,000
総合支援資金特例【新型コロナ】	7,774	3,961	2,064,599,000	3,666	1,913,399,000
合 計		6,850	2,494,055,000	6,554	2,341,860,000

○年度別貸付決定件数

(単位：件)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合支援資金	生活支援費	6	3	5	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	2	1	0	0
福祉資金	福祉費	21	28	30	15
	緊急小口資金	13	18	21	24
教育支援資金	教育支援費	45	32	20	28
	就学支度費	46	38	18	28
不動産担保型生活資金		0	0	0	1
臨時特例つなぎ資金		0	0	1	0
緊急小口資金特例【H30.7豪雨災害】		-	3	-	-
緊急小口資金特例【R2.7月豪雨災害】		-	-	-	1
緊急小口資金特例【新型コロナ】		-	-	41	2,791
総合支援資金特例【新型コロナ】		-	-	-	3,666
合 計		133	123	136	6,554

(12) 福祉人材バンク事業

○求職状況年度推移

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規求職者数	57	44	63	59
有効求職者数	21	12	16	14

○求人状況年度推移

(単位：人、件)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規求人件数	224	416	670	686
新規求人数	535	979	1,559	1,527
新規求人施設数	94	126	209	250
有効求人件数	662	1,180	1,763	1,889
有効求人数	1,645	2,774	4,128	4,171
有効求人施設数	271	318	509	595
求人応募者数	6	1	2	2
紹介採用人数	3	3	5	6

○相談状況年度推移

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
求 人	570	781	720	895
求 職	194	107	130	125
計	764	888	850	1,020

○65歳以上の年度別状況

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
相談件数	男	1	1	4	4
	女	0	0	1	0
	計	1	1	5	4
求 職	男	1	1	2	2
	女	0	0	0	0
	計	1	1	2	2
求 人	求人件数	0	0	0	0
	求人数	0	0	0	0
紹 介 数	男	0	1	1	0
	女	0	0	0	0
	計	0	1	1	0
就 職 数	男	1	1	1	0
	女	0	0	0	0
	計	1	1	1	0

○啓発・広報事業実績

(福祉入門講座)

目的：社会福祉に関する理解と関心を高めると共に新たな福祉人材の育成を図る。

実施主体：筑後地区福祉人材バンク（県社協からの受託事業）と域内市町村の該当する社会福祉協議会との共催とする。

実施内容：就職希望者・高校・大学生を対象とした「福祉関連事業所への就職につながる演題」及び一般の方を対象とした「身近な福祉」「わかりやすい福祉」「福祉の基礎知識の習得」等とする。

事業経費：1 講座 34,000 円、15 講座（510,000 円）を目安とする。

事業決算：10 講座 250,044 円

回数	開催社協／開催日／参加者	テーマ / 参加人数
7	<p>久留米市社会福祉協議会</p> <p>① 6月12日(金) 参加者：県立大川樟風高校</p> <p>② 6月26日(金)【対象3年生】 参加者：久留米学園高校</p> <p>③ 6月26日(金)【対象2年生】 参加者：久留米学園高校</p> <p>④ 7月22日(水)【基礎講座】 参加者：県立ありあけ新世高校</p> <p>⑤ 9月25日(金) 参加者：杉森高校</p> <p>⑥ 10月7日(水)【応用講座】 参加者：県立ありあけ新世高校</p> <p>⑦ 11月18日(水) 参加者：大牟田高校</p> <p>[決算額：148,044円]</p>	<p>高校生を対象に「福祉関連職場の魅力・やりがい」(福祉に夢が持てるように)の講話を行い、介護職員と施設利用者との間で信頼関係を構築した職場の現状等を紹介し、福祉への関心度を向上させる。</p> <p>また、開催される高校の要望も踏まえて、手話・障害者福祉・児童福祉など様々なテーマを織り込む。</p> <p>参加人数</p> <p>① 県立大川樟風学校 (計36人)</p> <p>② 久留米学園高校(3年) (計30人)</p> <p>③ 久留米学園高校(2年) (計22人)</p> <p>④ 県立ありあけ新世高校 (計6人)</p> <p>⑤ 杉森高等学校 (計41人)</p> <p>⑥ 県立ありあけ新世高校 (計6人)</p> <p>⑦ 大牟田高校 (計16人)</p> <p>(合計157人)</p>
3	<p>小郡市社会福祉協議会</p> <p>① 10月27日(火) 参加者：県立三井高校</p> <p>② 11月17日(火) 参加者：住民</p> <p>③ 11月30日(月) 参加者：住民</p> <p>[決算額：102,000円]</p>	<p>ボランティア講座を通して福祉全般への関心を高める。</p> <p>参加人数</p> <p>① 福祉施設職員による施設の様子を伝え関心を持ってもらう(県立三井高校) (計25名)</p> <p>② 映画鑑賞で認知症に対する理解を深める (計42名)</p> <p>③ 講演「豊かな人生を送るために必要なこと」 (計22名)</p> <p>(合計89人)</p>

(13) 生計困難者に対する相談支援事業

○「福岡ライフレスキュー事業」取組状況

取組状況	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県事務局への 拠出金口数	30口 (300,000円)	30口 (300,000円)	30口 (300,000円)
支援対象件数	5件	5件	2件
支援金額合計	227,331円	347,832円	104,347円
サポーター研修 受講職員数 (相談員研修 受講職員数)	6人	0人	0人

○「ライフレスキュー久留米連絡会」取組状況

ライフレスキュー久留米連絡会

項目	第1回	第2回	第3回
開催期日	8月21日(水)	10月31日(水)	—
開催場所	市総合福祉センター	市総合福祉センター	—
参加法人数	◎20法人(21人)	◎法人(23人)	—
	その他関係機関4名	その他関係機関3名	
協議内容	1. 令和元年度事業報告 2. 令和2年度事業計画 3. 支援報告 4. ふくおかライフレスキュー事業の報告(福岡県社協)	他市の取り組みから～ ・「板橋区社会福祉法人施設等連絡会の取組み状況及びその活動から見てきたこと」(zoomを使って) ・「福岡県内でのライフレスキュー連絡会の取組みについて」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○福祉機器の貸出し状況

(単位：件)

福祉機器		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
車椅子	更新数	103	80	72	81
	新規貸出数	68	56	54	70
ベッド	更新数	97	69	58	71
	新規貸出数	8	8	17	6
エアマット	更新数	0	1	0	0
	新規貸出数	0	0	0	0
その他	更新数	10	10	5	7
	新規貸出数	15	9	13	9
合計	更新数	210	160	135	159
	新規貸出数	91	74	84	85

○本所・支所の内訳

(単位：件)

	本所			田主丸支所			北野支所			城島支所			三瀨支所		
	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規
車椅子	63	45	48	10	10	17	3	5	2	5	3	2	0	1	1
ベッド	65	16	6	0	1	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0
エアマット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	1	1	3	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	132	62	55	13	21	25	7	6	2	7	3	2	0	1	1

(14) 成年後見センター運営事業

久留米市成年後見センター相談状況

○本人（相談対象者）の状況別相談件数 (単位:件)

区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合計
件数	316	49	94	53	512

○相談者の内訳 (単位:件)

区分	件数	区分	件数	区分	件数
本人	51	行政関係	25	医療関係	55
家族	196	地域包括支援センター	22	施設	35
親族	60	障害者相談支援事業所	13	後見受任者	9
民生児童委員	1	司法関係	2	他後見センター	0
知人・近隣者	12	ケアマネジャー	11	その他・不明	20

○相談内容の内訳（複数可） (単位:件)

区分	件数	区分	件数
成年後見制度に関すること	333	身上監護に関すること	0
申立て手続きに関すること	285	権利侵害に関すること	0
申立て人に関すること	1	研修等に関すること	2
後見人等に関すること	18	市長申立てに関すること	4
申立て・報酬費用に関すること	1	市民後見人に関すること	0
財産管理に関すること	13	その他	68

(15) 法人後見事業

○受任状況

(類型区分) (単位:人)

区分	平成29年度迄		平成30年度迄		令和元年度迄		令和2年度迄	
		内終了		内終了		内終了		内終了
成年後見	26	5	29	6	31	9	31	12
保佐	7	0	8	0	8	4	8	5
補助	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	34	6	38	7	40	14	40	18

(障害等区分) (単位:人)

区分	平成29年度迄		平成30年度迄		令和元年度迄		令和2年度迄	
		内終了		内終了		内終了		内終了
認知症	27	6	31	7	33	13	33	16
知的障害	4	0	4	0	4	1	4	1
精神障害	3	0	3	0	3	0	3	1
合計	34	6	38	7	40	14	40	18

(16) 情報の発信

○「くるめ福祉」の発行

- ① 発行 くるめ福祉（年5回） ※発行日の変更により、今年度のみ5回
- ② 配布先 市内全世帯（約110,000部）
- ③ 内容等

発行日	主な内容	各号共通内容
4/15 (174号)	令和2年度事業計画・資金収支予算 赤い羽根共同募金特集 ボランティアフェスティバルの報告 県知事表彰 赤十字運動月間へのご協力をお願い	・寄付者一覧、寄付等紹介 ・福祉漫画 ・成年後見センター便り ・献血ちゃんコラム ・献血日程予定表 ・アンケート募集
7/15 (175号)	令和元年度事業報告・決算報告 くるめ支え合うプラン完成 中期経営計画の策定 コロナにまけない 災害ボランティア登録をお願い	など
10/1 (176号)	赤い羽根共同募金 令和2年7月豪雨災害 コロナにまけない 社会福祉大会開催案内	
1/1 (177号)	新年のあいさつ コロナ禍での工夫 ボランティア募集 ボランティアフェスティバル案内 ヘルプマーク・養育里親 社会福祉大会顕彰者一覧	
4/1 (178号)	令和3年度事業計画・資金収支予算 コロナにまけない 赤い羽根共同募金特集 赤十字運動月間へのご協力をお願い	

○ホームページアクセス数

	月別閲覧ページ数（延べ数）			月別訪問者数（延べ数）		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	26,166	31,408	55,337	2,716	2,458	7,420
5月	32,140	34,929	51,514	2,823	2,465	8,626
6月	25,325	33,668	45,923	2,644	2,592	6,565
7月	230,573	41,443	287,481	27,733	5,318	37,229
8月	37,931	50,632	55,127	3,382	5,946	6,034
9月	35,131	43,846	43,727	2,485	4,982	4,329
10月	40,034	27,511	41,179	2,600	2,956	4,112
11月	31,347	27,762	34,073	2,335	2,643	3,553
12月	33,169	26,156	35,701	2,287	2,243	3,748
1月	40,051	29,088	33,828	2,615	2,593	4,864
2月	44,219	27,062	49,434	3,283	2,522	6,776
3月	41,903	37,392	46,523	3,103	3,614	6,122
総数	617,989	410,897	779,847	58,006	40,332	99,378
平均	51,499	34,241	64,987	4,834	3,361	8,282

※ページ数はサーバーログより
※訪問者数はGoogleAnalyticsより

令和元年度の閲覧の多いページ

- ①久留米市社会福祉協議会トップページ
- ②久留米市三潞総合福祉センター(ゆうゆう)について
- ③災害ボランティア相談窓口を開設しました(8月29日分)
- ④ボランティアセンター
- ⑤災害ボランティア相談窓口を開設しました(7月22日分)

令和2年度の閲覧の多いページ

- ①久留米市社会福祉協議会トップページ
- ②災害ボランティアの登録制度について
- ③新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の緊急貸付について
- ④久留米市災害ボランティアセンター
- ⑤生活福祉資金貸付制度について

SNSの活用について

○フェイスブック … 投稿記事 265件(前年比 130%増) 延べ閲覧数 124,095回(前年比 246%増)

令和2年度の閲覧の多い記事

- ①布マスクバンクはじめます(R2.5.14) 4,135回
- ②災害ボランティア受付開始(R2.7.13) 3,434回
- ③緊急 災害情報を集めています(R2.7.7) 3,159回
- ④新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者支援『赤ちゃんの粉ミルク募集』(R2.3.1) 1,689回
- ⑤災害ボランティアセンターの閉所について(R2.8.4) 1,688回

○ツイッター … 投稿記事数79件(前年度比 163%増) ※災害ボランティアセンター分33回を含む

令和2年度の閲覧の多い記事

- ①災害ボランティアセンターの閉鎖(R2.8.4) 10,500回
- ②8月6日、7日、9日献血会の案内(R2.8.4) 8,178回
- ③寒波及び緊急事態宣言による血液在庫の激減及び1月20日、23日献血会の案内 (R3.1.18) 5,267回

(17) 在宅福祉サービスの推進

○介護保険認定調査事業

(単位：件)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
調査件数	5,630	4,671	4,301	2,471

○居宅介護支援事業

居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等

(単位：人)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（月平均）	121	107	99	98

○介護予防支援事業

介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成

(単位：人)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（月平均）	20	18	21	25

○訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

(単位：人、回)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（月平均）	25	21	17	14
回 数	5,078	4,048	2,924	2,089

○介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

(単位：人、回)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（月平均）	6			
回 数	231			

※平成29年度11月末日をもって介護予防訪問事業の利用者は総合事業に移行した為、8か月にて算出

○総合事業（訪問介護）（ホームヘルパー派遣）

(単位：人、回)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（月平均）	7	13	17	18
回 数	382	526	763	1,100

○通所介護事業

(単位：人、日)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（月平均）	51	51	49	52
延人数	9,124	8,420	8,165	8,598
開所日数	309	306	307	307
平均人数（1日当り）	30	28	27	28

○介護予防通所介護事業

(単位：人、日)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数 (月平均)	5			
延人数	250			
開所日数	209			
平均人数 (1日当り)	1			

※平成29年度11末日をもって介護予防通所事業の利用者は総合事業に移行した為、8か月にて算出

○総合事業 (通所)

(単位：人、日)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数 (月平均)	6	14	12	11
延人数	424	1,071	926	754
開所日数	309	306	307	307
平均人数 (1日当り)	1	4	3	2

○障害福祉サービス事業 (ホームヘルパー派遣)

(単位：人、回)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数 (月平均)	12	12	13	11
回 数	2,007	1,523	1,167	986

(18) 指定管理施設等の管理・運営

○福祉バス利用状況

(単位：人)

バス種別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
本所福祉バス (団体利用型)	7,379	6,494	4,790	157
田主丸福祉バス (巡回型)	23,083	23,031	17,386	9,103
北野老人いこいの家 送迎バス	440	391		
合 計	30,902	29,916	22,176	9,260

※北野老人いこいの家送迎バス事業は平成30年度末で受託終了

○施設利用状況

(単位：人)

施設名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合福祉センター	9,143	9,113	7,291	4,879
総合福祉会館	76,615	73,901	68,617	30,296
田主丸老人福祉センター	34,583	33,768	28,540	19,764
三潁総合福祉センター	43,677	41,066	36,771	19,222
合 計	164,018	157,848	141,219	74,161

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部臨時休館(令和2年3月7日～令和2年5月25日)

○三潴総合福祉センター事業実施状況

(単位：人)

事業名		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
子育て支援事業	ベビーマッサージ	12	489	12	302	10	315	10	209
	子育てサロン	11	245	12	269	10	135	8	79
	育児相談	相談数 30件		相談数 12件		相談数 5件		相談数 3件	
	料理教室	3	51	3	32	3	80	0	0
生きがい事業	手芸教室	24	217	24	195	/	/	20	165
	折り紙教室	13	258	13	256	11	200	10	145
	塗り絵教室	23	181	24	163	21	155	20	187
	筆ペン教室	24	699	24	798	24	692	19	489
健康づくり事業	健康体操	23	646	24	669	21	601	3	58
	日曜健康体操	11	202	12	315	11	229	1	13
	フラダンス教室	22	417	24	520	21	512	16	264
	健康づくり事業	/	/	3	120	5	177	3	53
	太極拳	/	/	/	/	22	309	18	128
	食と体の健康事業	28	718	12	445	23	522	0	0
予防事業 認知症	イキイキ脳トレ 貯筋運動	24	408	24	388	21	355	19	270
	脳と身体の体操	/	/	/	/	/	/	4	34
広報事業 (ゆうゆうだより)		4	1回当り 5,800部	4	1回当り 6,050部	4回	1回当り 6,000部	4回	1回当り 6,000部
利用者送迎事業		364		255		42		15	
憩い事業 (季節のお風呂)		毎月1回 (8月除く) (計11回)		4, 6, 7, 8, 9, 10, 11月(計7回)		/		/	

○総合福祉会館事業実施状況

(単位：人)

事業名		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
訓練事業	機能回復訓練	243	3,013	243	2,726	222	2,425	190	1,797
事業	機能回復訓練相談	相談数 72 件		相談数 65 件		相談数 56 件		相談数 43 件	
主催事業	料理教室等	63	998	61	942	56	880	38	578

○田主丸老人福祉センター事業実施状況

(単位：人)

事業名		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
主催事業	薬草教室	11	248	12	208	10	205	10	170
	盆栽教室	20	214	19	207	16	163	16	137
	ボランティアクラブ	10	187	9	151	8	103	7	68
	絵画教室	20	303	20	343	18	329	17	178
	押花教室	18	302	19	246	18	235	17	162
	竹工芸教室	20	393	19	333	16	292	14	176
	太極拳教室	20	192	20	187	19	284	16	167
	絵手紙教室	20	326	20	378	19	342	18	327
	詩吟教室	20	337	20	328	19	289	16	173
	健康音楽教室	12	376	12	376	16	363	20	428
	楽しむ ^{まる} カフェ	7	285	12	486	11	541		
	フクロウ会 (折り紙)					3	50	9	158
共催事業	シルバーいきいき学級					15	306	8	146
事業	老人健康相談	12	相談数 213件	12	205	11	145	10	114
送迎事業	利用者送迎	176便	1,099	183便	1,297	168便	1,052	113便	421

(19) 共同募金配分金事業

①一般共同募金配分金事業

事業	内容	金額(円)
校区社協活動支援	校区社会福祉協議会活動費 (前年度校区実績額の50%相当額+40,000円)	30,390,000
	食事サービス事業補助	2,840,000
	訪問活動支援事業	455,000
	サロン運営事業補助	3,005,000
ボランティア及び 福祉団体等補助	はーとふる補助 (3団体)	450,000
	社協構成7団体補助 (4団体)	749,300
	一般補助 (26団体)	1,300,000
	設立補助対象新規団体 (1団体)	63,000
	ボラ連 (1団体)	300,000
社協広報事業 (共同募金充当額)	広報紙「くるめ福祉」年5回発行 ホームページ保守点検	2,698,773
生活困窮者支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響による 生活困窮者への緊急食糧支援	1,410,130
命のバトン事業	在庫補充	218,200
合 計		43,879,403

②歳末たすけあい配分金事業

事業	内容	金額(円)
校区社協活動支援	校区社会福祉協議会活動費 (今年度校区実績額の50%相当額)	7,697,000
	食事サービス事業補助	3,499,000
	サロン運営事業補助	2,399,000
	いのちのバトン事業	114,000
カレンダー配布事業	独居高齢者及び高齢者世帯配布 (21,300部)	1,767,960
路上生活者支援事業	NPOホームレス支援久留米越冬活動の会補助	300,000
合 計		15,776,960

(20) 共同募金・日本赤十字事業への協力

○共同募金会久留米市支会年度別実績額

(単位：円)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		一般募金運動期間 (10/1～12/31)	一般募金運動期間 (10/1～12/31)	一般募金運動期間 (10/1～12/31)	一般募金運動期間 (10/1～12/31)
赤い羽根一般募金		57,189,319	57,195,382	57,724,451	56,901,810
内訳	戸別募金	40,418,613	40,634,580	41,101,621	40,662,877
	法人募金	7,823,808	7,864,986	7,876,150	7,615,040
	個人募金	4,262,361	3,932,532	3,782,554	4,148,938
	その他の募金	4,684,537	4,763,284	4,964,126	4,474,955
歳末たすけあい募金		15,451,888	15,487,138	15,775,960	15,769,865
合 計		72,641,207	72,682,520	73,500,411	72,671,675

○日本赤十字活動資金募集実績額

(単位：円)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目 標 額		27,300,000	25,700,000	25,718,000	24,576,000
実 績 総 額		68,399,816	33,340,049	35,048,108	31,689,581
内訳	会 費	29,172,783	28,690,849	29,275,108	28,808,681
	法 人 会 費	715,000	696,000	514,000	709,700
	高 額 寄 付 金	38,033,833	2,800,000	4,710,000	1,949,200
	事 務 局 受 入	478,200	1,153,200	549,000	222,000
目標額に対する割合		251%	130%	136%	129%

○世界赤十字デー奉仕活動実績数

(単位：人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 ※
実施奉仕団数	26	24	19	0
延べ人数	2,393	2,382	2,597	0

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○赤十字講習会実施実績数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数	救急法	3回	1回	2回	1回
	幼児安全法	1回	3回	2回	3回
	健康生活支援講習	7回	10回	11回	5回
受講者総数		384人	473人	538人	212人

救 急 法 : AEDの使い方、心肺蘇生法

幼 児 安 全 法 : 子供に起こりやすい事故への対処法

健康生活支援講習 : 災害時の対応、高齢者高齢者に起こりやすい事故の予防と手当

○災害救援物資配布実績数

(単位: 件)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
火災見舞世帯 (半焼・全焼)	10	7	11	22
水害見舞世帯 (床上浸水)	0	201	72	172
その他世帯 (震災避難)	0	0	0	0

※災害救援物資交付基準表

災害内容	毛布/タオルケット	タオルセット	救急セット	医薬品セット
全焼・全壊・流失	1人につき1枚	1世帯2組	1世帯1組	1世帯1組
半焼・半壊・床上浸水		1世帯1組		

※毛布: 1~6月・10~12月 / タオルケット: 7~9月 (令和2年度より)

○献血事業実施実績数

(単位: 人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考
地 域	3,352	3,159	2,979	3,345	校区33校区、51回、2,542人 ライオンズクラブ 8回、803人
職 域	3,231	3,123	2,984	3,629	官公庁、自衛隊、病院、企業等
学 域	1,295	1,309	1,286	534	久留米大学、久留米高等技術 専門学校、南筑高校、久留米 学園高校、祐誠高校、久留米 商業高校、筑水高校
合 計	7,878	7,591	7,249	7,508	